

## おーいオータニ

栗田 寿樹（栃木県栃木市・五十四歳）

俺だよ！俺のことわかるか？

そりゃそうだよな、お前は二十六のまま、俺だけオッサンになってるんだからな。髪も薄くなったかもしれないけど、そんなにお腹ばっかり見るなよ。笑うなよ！

オータニが心不全で急になくなったのが昭和の終わりだから、もう三十年近くになるのか。大学の探検部の部室で出会ったのが最初だっけ。お前は山登りでも酒の席でもほんと。パワフルだった。俺はいつもお前に負けてたし、サボることばっか考えてて、助けてもらったことも数知れず。とにかくお前は俺だけじゃなく、みんなのヒーローだったよ。

そうそう、覚えてる？野沢温泉にスキーに行った夜、椎名誠の「東日本何でも蹴飛ばす会（略称「東ケト会」）の向こうを張って「関東壊す会連合（略称「関東壊連」）を作ろうと計画したこと。楽しかったね。あと、お前が栃木の俺の家に来て、深夜に日光杉並木を走っていた時、白い物がふわっと来て、俺があわてて急ブレーキ踏んだのに、お前は寝てたくせに「今のは猿だよ猿。俺がその証言するから大丈夫だよ」って言うもんだからさ、怖さなんて吹っ飛んだよ。お、笑ったね。思い出したかな。

でね、葬式の日の事だけど、五十嵐と横浜から車で遅刻して、ギリギリ出棺の時に着いたもんだから、実は俺達お前の最期の顔を見てないんだよ。だから頭の中のオータニはいつも元氣一杯な訳。遅刻して良かったと思ってる。

でも、お前がいなくなってから世の中随分変わったよ。大きな地震もあったし、テロがあちこち起きてて、のほほんと生きてはいけないね。

今の俺どう思う？幸せなようなそうでないような。ただのオッサンになったよ。

お前と酒飲んで相談したい事だっ一杯あったんだよなあ。あまり長話もできないね。そんなに早くそっちに行くつもりもないけど、今度会う時はたくさん土産話持ってくるから。

でもそばで見えてくれていて、やばそうな時は助けてくれよ。じゃあまたな。